



# 学校だより

学校教育目標

元気な子 (心と体すくすく)  
進んで学ぶ子 (学びわくわく)  
豊かにかかわる子 (人とにこにこ)

令和7年1月8日

第529号

児童数 591名

巳年の始まり

校長 岩澤 奈々子

新しい年を迎えるにあたり、今年の干支（えと）が話題になります。令和7年（2025年）は巳年です。特に今年の巳年は「乙巳（きのとみ）」で、「乙」はまだ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味するそうです。この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているとされています。

1、2学期、並木っ子は日々の学校生活や学校行事、家庭や地域における生活で様々な経験を通して大きく成長してきました。3学期は次年度に向けた0（ゼロ）学期と言われている通り、これまで培ってきた力を結実させる時期だと考えており、今年の干支の謂れと合致するように感じました。並木っ子一人一人にとって実りある3学期、そして一年となるよう、教職員一同充実した教育活動を進めてまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ところで、以前にお伝えしていましたが今年度本校は2つの文部科学大臣賞を受賞し、学校を代表して表彰式にて賞状を受け取ってまいりました。

## <全国学校安全文部科学大臣賞>



この賞は令和4年度の埼玉県学校安全優良学校、令和5年度の全国健康づくり推進学校表彰優秀校として高く評価されたことに基づき、これまでの学校安全における取組について実践報告書を作成し選考を経て受賞に至りました。町会長さん、主任児童委員さん、スクールガードリーダーさん等地域の方々に毎日行っていたいただいている交差点での見守り、保護者の方々にご協力いただいている登下校の見守り、引き渡し訓練、避難所運営会議、並木っ子ノートを活用した教職員による安全

指導等、交通安全、防災、防犯、ネットトラブル等々多岐にわたる学校安全について、子供たちに「自分事として捉えて実践化を図る」ことを念頭に置いた指導体制が高く評価されました。

しかし、まだまだ課題は多く取組の充実が必要です。特に日々の交通安全は本校の喫緊の課題です。受賞を機にさらに児童へ指導の徹底を図ると共に、保護者の方々、地域の方々の見守りを引き続きよろしくお願いいたします。

## <全国学校体育研究最優秀校（文部科学大臣賞）>



この賞は令和元年度以降、特に令和4・5年度に取り組んだ研究が高く評価されました。評価のポイントとして、小学校6年間を見据え系統的に授業を組み立て、教師一人一人が指導のねらいを明確にしながら授業を進めていること。そして何より、体育の授業の中で子供たちが試行錯誤を重ねながら話し合い、折り合いを重ねながら仲間と共に楽しく運動していることが高く評価されました。引き続き、生涯にわたって健康に過ごすことのできる並木っ子を育ててまいります。